

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究計画 2021～2030

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

Education and Research Plan (2021-2030) of the University of Tokyo Forests

The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences,
The University of Tokyo

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林（以下、附属演習林）は東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林規則（以下、附属演習林規則）に基づき設置されており、その第一条に、林学・林産学に関する基礎的および応用的な試験・研究を行うとともに、学生の実習に便宜を与えることを目的とすることを定めている。2011年に策定した東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究計画 2011～2020（以下、前計画）は、それまで地方演習林ごとに策定してきた試験研究計画の策定方式を改め、附属演習林全体を集約した10か年計画として初めて策定した。本計画は前計画に引き続き、2021～2030年の10年間の附属演習林全体を集約した計画として策定するものである。

本計画は三部構成となっている。第一部（附属演習林計画）は附属演習林全体の計画であり、基本方針、大学教育・研究・社会連携・国際・森林管理・環境安全の計画、およびそれらを実現するための手段としての管理運営計画と組織について述べる。第二部（常置専門委員会計画）は、常置する専門委員会の計画について述べる。第三部（地方演習林計画）は各地方演習林の計画であり、第一部で示した「附属演習林が特に重視する機能と、その機能を主に担う地方演習林」を踏まえ、各地方演習林の基本方針、大学教育・研究・社会連携・国際・森林管理・環境安全の計画、およびそれらを実現するための手段としての管理運営計画と組織について述べる。